

練馬区外郭団体中期経営計画の達成状況

団体名	一般社団法人 練馬区産業振興公社	団体所管課	産業経済部経済課
-----	------------------	-------	----------

経営計画期間	令和 2 年度 ~ 6 年度	※計画期間は、5年間(令和2~6年度)とし、年度別計画は3年間(令和2~4年度)
--------	----------------	--

団体の目指す将来像

区との密接な連携の下、産業振興施策の中核的機能を担うとともに、区内経済団体と連携協力して多様で専門性の高い事業を展開し、地域経済の活性化に寄与する。

区の外郭団体としての公共性や安定性を基盤に、区内事業者・勤労者等のための活力ある魅力的な事業を展開する。

取り組みを進めるうえでの「基本的方針」

1 練馬ビジネスサポートセンターの運営

開設してから5年を経過し、創業支援事業と販路拡大支援事業の実績等を踏まえ、さらにバランスの取れた運営を行う。

2 練馬区立区民・産業プラザの維持運営

区民・産業プラザの利用を促進することで、地域経済の活性化に寄与する。そのため、産業イベントコーナーの稼働率をアップさせるほか、利用者満足度の高い接遇および施設の維持管理を行う。

3 ねりま観光センターの運営

観光情報サイトでのコンテンツの充実や、区ゆかりの体験イベントの実施など、より効果的に区の魅力的な資源(商品・お店・イベント・映像文化等)を発信する。

4 ねりまファミリーパックの運営

会員のニーズに合った利用しやすいサービスを提供するとともに、区内事業者・団体等との連携を広げ地域経済の活性化に繋がる事業を実施するなど、民間類似事業者に無い独自事業の展開を図る。

区が外郭団体に求めるもの

産業振興公社は引き続き、区民・産業プラザを拠点として区の産業振興施策を展開する。その際、外郭団体の特性を活かした柔軟で機敏な事業を実施し、区内産業経済団体と連携した地域経済活性化への取組を進めていく。

達成状況の評価

外郭団体は、経営計画の取組や達成状況を毎年度、評価する。団体が行う達成状況の評価は、つぎの3段階で評価する。

「A」 計画以上に進んだもの

「B」 概ね計画どおりのもの

「C」 計画どおりに進んでいないもの

団体所管課の評価

団体所管課は、年度終了後、団体の取組や達成状況などから、年度の評価を行う。

事業1	練馬ビジネスサポートセンター			
取組内容	①相談体制の充実により、累計相談件数1万件を目指す。 ②創業ねりま塾の体系見直しを行って、創業支援と若者・女性・シニアなど幅広い層への創業支援を行う。 ③SNSの活用をはじめ要望の多いテーマを中心に様々なセミナーを実施する。			
目標①	経営相談(総合・創業・専門)の実施 年間累計相談件数10,000件			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	7,500件	8,700件	10,000件
実績	6,530件	8,251件	9,663件	11,306件
団体の達成 状況の評価	—	A	A	A
備考	—	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた区内事業者への支援策として、中小企業診断士等の増員、オンライン経営相談の開始等による相談業務の拡充を図ったため。	専任のビジネスサポートセンター長兼ビジネスマネージャーの配置による相談体制の強化およびオンライン相談の継続による相談チャンネルの拡充を図ったため。	オンライン相談の継続実施などに加え、「デジタルサポート相談」の創設、「販路拡大・集客相談」におけるデザイナー配置などの新たな取組を実施したため。
目標②	創業ねりま塾の開催、創業希望者への支援 年間創業者数55人			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	55人	55人	55人
実績	58人	36人	46人	51人
団体の達成 状況の評価	—	C	C	B
備考	—	創業セミナーの実績から、創業希望のニーズはあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、創業に慎重となったと考えられるため。	創業相談の実績から、創業希望のニーズはあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、創業に慎重となる傾向が継続していると考えられるため。	
目標③	利用者のニーズに応えるセミナーの実施 受講者満足度80%以上			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	80%以上	80%以上	80%以上
実績	82.0%	77.4%	81.7%	87.4%
団体の達成 状況の評価	—	B	A	A
備考	—		コロナ禍において関心の高いテーマを設定したとともに動画配信方式での実施により受講チャンネルの拡充を図ったため。	インボイス制度など関心の高いテーマを設定したとともにオンラインライブ方式での実施により利便性の向上を図ったため。

取組内容の評価(令和2年度)

<p>団体</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による影響を受けた区内事業者への支援策として、オンライン経営相談の開始などの相談業務を拡充した結果、目標を大きく超える相談件数となった。また、テレワークの活用術などをテーマとした、コロナ禍においてニーズの高いセミナーを対面方式だけでなくオンライン方式でも実施し、受講者満足度の向上に努めた。</p> <p>年間創業者数は、前年度と比較して減少したものの、若者を対象とした創業ねりま塾のメニューを新たに創設するとともに、子育て中の方や高齢者がより気軽に参加できるよう創業ねりま塾の体系の見直しを行うなど創業者数の増加を図る取組を実施した。</p>
<p>事業所管課</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた区内事業者を支援するため、4月からの臨時電話相談会の実施を皮切りに、休日を含むオンライン経営相談の実施、中小企業診断士による経営相談の拡充等、矢継ぎ早に施策を実行してきたことを評価する。</p> <p>また、コロナ禍で区内事業者が直面する課題をテーマとした効果的なセミナーを開催し、その満足度も目標を概ね達成できている。</p> <p>創業者数については、目標は達成できなかったが、コロナ禍における創業者数の増加を図る取組として、創業セミナーの実施方法に「動画配信」を取り入れ、セミナー参加への裾野を広げていることから、今後の創業者数の増加が期待される。</p> <p>区内における事業者支援の拠点として、引き続き、新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者、創業希望者等への効果的な支援策の展開を求める。</p>

取組内容の評価(令和3年度)

<p>団体</p>	<p>中小企業診断士の資格を有する専任のビジネスサポートセンター長兼ビジネスマネージャーの配置をして相談体制の強化を図ったとともに、令和2年度から開始したオンライン相談を引き続き実施し、相談チャンネルを拡充した結果、目標を大きく超える相談件数となった。また、コロナ禍ならではの「リモート時代のチームビルディング」、「YouTube活用」などをテーマとしたセミナーを実施し、目標に定めた受講者満足度を達成することができた。</p> <p>年間創業者数は、目標は達成できなかったが、前年度と比較して増加しており、創業セミナーの実施方法に、「オンラインライブ方式」を試行的に取り入れるなど、セミナー参加への裾野を広げる取組を実施した。</p>
<p>事業所管課</p>	<p>専任のビジネスサポートセンター長兼ビジネスマネージャーの配置による相談体制の強化、新型コロナウイルス感染症を契機として導入したオンライン相談の本格実施などにより、令和4年度目標値に迫る相談件数を達成した。</p> <p>また、経営者向けセミナーの受講者満足度を高める取組として、令和2年度に引き続いて、コロナ禍において事業者の関心が高いテーマの設定、受講チャンネルの拡充などを行い、目標を達成したことを評価する。</p> <p>創業者数についての目標は達成できなかったが、創業者数の増加を図る取組として、創業希望者向けセミナーの実施方法に、「対面」や「動画配信」のほか、「オンラインライブ方式」を試行的に取り入れ、セミナー参加への裾野を広げていることから、今後の増加が期待される。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格・物価高騰などにより、事業者、創業希望者は厳しい環境に置かれていくことが予測される。引き続き、相談体制の充実などの効果的な支援策の展開を求める。</p>

取組内容の評価(令和4年度)

<p>団体</p>	<p>オンライン相談の継続実施などに加え、「デジタルサポート相談」の創設、「販路拡大・集客相談」におけるデザイナー配置などの新たな取組を実施した結果、目標を大きく超える相談件数となった。経営者向けセミナーについては、「デジタル化」や「インボイス制度」などの関心の高いテーマ設定、会場とオンラインライブの2つを組み合わせた実施手法など、ニーズや利便性の向上を踏まえて実施し、目標に定めた受講者満足度を達成することができた。</p> <p>年間創業者数については、目標に僅かながら届かなかったが、創業希望者向けセミナーの開催に当たり、会場に加え、オンラインライブでも実施するなど、セミナー参加の裾野を広げる取組を行った。受講者満足度は90%を超えており、創業支援として有効なセミナーを実施することができた。</p>
<p>事業 所管課</p>	<p>新たな専門相談メニューとして「デジタルサポート相談」を創設し、また「販路拡大・集客相談」に新たにデザイナーを配置するなど相談事業の充実を図り、目標を大きく超える相談件数を達成したことを評価する。</p> <p>また、経営者向けセミナーについても、受講者のニーズや利便性を踏まえた、テーマの設定、実施手法の構築により、受講者満足度を年々向上させ、目標を大きく超える満足度を達成したことを評価する。</p> <p>創業者数についての目標は僅かに達成できなかったが、創業希望者向けセミナーの受講者満足度が高く、年々創業者数も増加していることから、次年度以降の目標達成が期待される。</p> <p>物価上昇などにより、区内事業者は依然として厳しい環境に置かれている。令和5年度から発足した専門家相談チームの活用などを通じて、引き続き、事業者や創業希望者に寄り添ったきめ細やかな支援を求める。</p>

事業2	区民・産業プラザ
取組内容	①近くて便利できれいな施設の特性を更に高め、利用者満足度の高い施設サービスを提供する。 ②指定管理者として、利用料金収入の安定的な確保に取り組む。 ③利用率が唯一低い産業イベントコーナーの利用促進に向けて、様々なイベントや各種事業の開催に取り組む。

目標①	施設利用の推進と利用者満足度の向上 利用者満足度95%以上			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	95%以上	95%以上	95%以上
実績	92.4%	96%	92.7%	93.0%
団体の達成 状況の評価	—	A	B	B
備考	—	令和3年2月から3月に実施した利用者アンケート調査(回答数126)による。		

目標②	利用料金収入の確保 年間利用料金収入額30,000千円			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	30,000千円	30,000千円	30,000千円
実績	26,629千円	7,706千円	18,076千円	28,365千円
団体の達成 状況の評価	—	C	C	B
備考	—	新型コロナウイルス感染症対策として、施設の休館や利用定員の制限等を行ったため。	新型コロナウイルス感染症対策として、施設の休館や利用定員の制限等を行ったため。	

目標③	産業イベントコーナーの利用促進 コーナーの利用率60%			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	57%	58%	60%
実績	50.8%	0%	38.4%	42.1%
団体の達成 状況の評価	—	—	C	C
備考	—	新型コロナウイルス感染症対策として実施した施設の休館および産業融資あっせん窓口の開設に伴い貸出を休止したため。	新型コロナウイルス感染症対策として、施設の休館や利用制限等を行ったため。	新型コロナウイルス感染症の影響により、集客イベントの自粛が見られたため。

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	<p>区民・産業プラザの施設運営については、新型コロナウイルス感染症対策の影響により厳しい状況であった。</p> <p>利用料金収入については、施設の休館および利用定員の制限等により、大幅な減収となった。特に産業イベントコーナーについては、休館や産業融資あっせん特別窓口として使用したため、ほぼ年間を通して施設を利用することができず、一般利用の実績はなかった。</p> <p>そうした中で、利用者満足度の高いサービスの提供を念頭に、施設についてはこまめな消毒・清掃を実施し、清潔な施設環境の維持に努め、利用者に対しては職員の丁寧な接遇に努めた。その結果、利用者アンケートの高い評価につながったものと考えられる。</p>
事業所管課	<p>令和2年度は、コロナ禍において感染拡大防止が求められる中、区と連携して万全な施設運営体制をとることができた。</p> <p>また、施設の休館等により利用料金収入が大幅に減少する中、テレワーク等を目的とした新たな施設利用が増えている。今後、無料Wi-Fiの提供や営利目的の利用が可能であるといった施設の魅力を積極的に発信し、利用率の向上に努められたい。</p> <p>産業イベントコーナーについては、区の融資あっせん窓口として利用したために、一般の利用ができなかった。今後、産業経済団体や区内事業者と連携した利用促進に向けての取組に期待する。</p> <p>こうした状況の中、利用者アンケートにおいて高い評価を得ていることは、利用者の利便性を意識した施設運営に腐心した結果であると考えられる。引き続き、利用者満足度の向上と、利用率の向上に向けた取り組みを求める。</p>
取組内容の評価(令和3年度)	
団体	<p>施設のPR動画の作成や、研修室の営利利用を令和3年10月から可能とするなど、施設利用の推進に取り組んだ。また、施設のこまめな消毒・清掃により清潔な施設環境の維持に努め、利用者への丁寧な接遇に努めた。その結果、利用者満足度は、目標値に至らなかったとはいえ、90%を超える高い評価につながったものと考えられる。</p> <p>利用料金収入については、前年度比で増収となったものの、施設の休館および利用定員の制限、利用の自粛などにより、新型コロナウイルス感染症拡大前と比べると依然として大幅な減収となった。</p> <p>産業イベントコーナーの利用率についても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標値には至らなかったが、公社内でPTを立ち上げ、産業イベントコーナーを活用した事業の実施など利用促進について検討を進めた。</p>
事業所管課	<p>令和3年度も、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などにより利用が制限されるなか、利用者の安全安心な施設利用を念頭に、清潔な施設環境の維持や丁寧な接遇の徹底など適切な施設運営に努めた。</p> <p>令和3年10月からは、ココネリホールと産業イベントコーナーに加え、新たに研修室を営利利用可とするとともに、施設のPR動画の作成やファミリーパックのガイドブックへの施設紹介記事の掲載をするなど、施設利用の推進について積極的に取組を進めており、評価する。</p> <p>コロナ禍において、テレワークなどの新たな利用者ニーズへの対応や、感染拡大防止などの社会状況の変化に応じた施設運営が求められる。引き続き、利用者満足度の高い施設サービスを提供し、利用率の向上などに努められたい。</p> <p>また、産業イベントコーナーの活用については、PTにおいて検討した事業が早期に実施されるよう、今後の取り組みに期待する。</p>

取組内容の評価(令和4年度)

<p>団体</p>	<p>令和3年度に作成したPR動画を活用した広報や、研修室の営利利用を可能としたこと等により、利用料金収入は前年度に比べて大幅に増加した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用の自粛が続いていることもあり、わずかながら目標を上回ることが出来なかった。</p> <p>施設のコまめな消毒・清掃により清潔な施設環境の維持に努め、利用者への丁寧な接遇に努めた結果、利用者満足度は、前年度に引き続き、90%を超える高い評価につながっている。</p> <p>産業イベントコーナーについては、PTで検討した事業の実施、スマートライトの設置・床リニューアル等により、利用率は前年度と比較して増となったが、依然として目標値と15%以上の差がある。PTでの検討結果を踏まえた取組を実施するとともに、施設利用のメリットをPRすることで、さらなる利用率向上に努めていく。</p>
<p>事業 所管課</p>	<p>令和4年度においても、コロナ禍での利用者の安全安心な施設の利用を心掛け、消毒・清掃の徹底や利用者への丁寧な接遇など、適切な施設運営に努めた。</p> <p>産業イベントコーナーの利用促進を図るため、施設を明るくするスマートライトの導入や床工事の実施によって、リニューアルオープンするとともに、登録団体への利用案内等のDM発送や電話勧奨など、積極的に施設の利用推進に取り組んでおり、評価する。</p> <p>引き続き、利用者満足度の高い施設サービスを継続するとともに、コロナ禍を契機に新たに発生したテレワーク利用などの新たなニーズを取り込むなど、アフターコロナに向けて、更なる利用率の向上に努められたい。</p>

事業3	ねりま観光センター
取組内容	<p>①条例上指定管理業務に位置付けるとともに、練馬・石神井各々の商品内容、施設機能を更に充実し、区内観光資源の魅力発信につなげる。</p> <p>②HPの検証を通じ、更なる練馬の観光資源や魅力の創造と発信を行う。練馬区へのお出掛け、観光情報のポータルサイトを目指す。</p> <p>③新たな体験や見どころの創造・創出を通して練馬の魅力を再発見し、練馬への定期的な来訪(周遊)を促すツアーを実施する。</p>

目標①	観光案内所の運営 年間売上額37,000千円			
	元年度	2年度	3年度	4年度
年度別取組計画	—	35,000千円	36,000千円	37,000千円
実績	33,618千円	21,584千円	31,827千円	41,876千円
団体の達成状況の評価	—	C	C	A
備考	—	緊急事態宣言中(4月4日・5日・4月11日～5月31日)に休業したことおよび練馬観光案内所については、産業融資あっせん窓口の開設により休業期間が9月末まで延長されたため。	緊急事態宣言中の休業(4月25日～5月11日)やまん延防止等重点措置期間が長く、利用者が伸び悩んだことが売上に影響したため。	行動規制の緩和等により、利用者・購入者数が増加したことおよびイベントへの参加により、販売機会が増加したため。

目標②	HP「とっておきの練馬」によるねりまの魅力発信 年間PV数1,400,000回			
	元年度	2年度	3年度	4年度
年度別取組計画	—	1,200,000回	1,300,000回	1,400,000回
実績	1,204,077回	1,400,420回	903,801回	1,060,589回
団体の達成状況の評価	—	A	C	C
備考	—	飲食店応援企画の実施、バーチャルねり丸ランドの開設、毎月のPV分析により、魅力的な特集記事を提供したため。	コロナ禍における大規模イベントの中止により、イベント情報の発信機会が減ったため。	区内の大規模イベントは再開されたものの、阿波踊りやよさこい祭り等の多くの注目を集めるイベントの中止があり、情報の発信機会が減ったため。

目標③	ねりま観光ツアーの実施 年間8回			
	元年度	2年度	3年度	4年度
年度別取組計画	—	5回	6回	8回
実績	2回	3回	6回	8回
団体の達成状況の評価	—	C	B	B
備考	—	新型コロナウイルス感染症拡大によりツアーの実施可能期間が短かったため。なお、唯一実施したツアーは希望者が多数のため、実施回数を増やした。		

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	<p>飲食店応援企画「テイクアウト・デリバリー情報掲載事業」を実施したことや、毎月部会でPVの傾向を分析し、様々な企画に反映させるよう努めたことなどにより、PV数は目標を大きく上回った。案内所運営では休業を余儀なくされるなど厳しい状況であったが、ねり丸グッズの新商品販売などで売上向上に努めた。観光ツアーの実施回数は少ないものの、バーチャル観光案内を作成し好評を博した。</p>
事業所管課	<p>観光案内所は、新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や時短営業となった期間があったため、目標売上を達成できなかった。しかしながら、キャッシュレス決済の導入や区内農業者の加工品販売、新たなグッズ販売など、コロナ禍でも様々な取組を行いながら売上向上に努めている。今後の売上に期待する。</p> <p>HPのPV数では、「おうちで楽しむねりまごはん」や「バーチャルねり丸ランド」等の新たな取組を実施したことで、目標PV数を大きく上回ったことを評価する。</p> <p>ねりま観光ツアーは、緊急事態宣言中のツアーを中止したため、目標回数は達成できなかった。一方で、実施したツアーでは、感染症対策を徹底した上で、区の特徴である都市農業の魅力を発信し、参加者からも大変好評であった。また、代替施策としてオンラインツアーにも新たに組み込み、コロナ禍での可能な観光施策に努めたことを評価する。</p> <p>令和3年度からは、観光案内所の運営が指定管理業務となった。区内観光資源の魅力を発信する拠点として更なる活用を図り、引き続き、効果的な観光施策の展開を求める。</p>
取組内容の評価(令和3年度)	
団体	<p>観光案内所運営では、新型コロナウイルス感染症の影響により、休業や時短営業を余儀なくされるなど厳しい状況が続き、目標の年間売上額を達成できなかった。一方で、季節感を取り入れた限定菓子の販売やねり丸グッズの新商品発売など売上向上に努めたことにより、目標の8割強を達成することができた。</p> <p>HPによる練馬の魅力発信では、イベント情報がほぼ稼働しないことにより年間PV数は大幅な減となった。一方で、毎月様々な企画に取り組み、地道に地域の魅力を発信することにより、目標の7割弱のPV数を獲得することができた。</p> <p>ねりま観光ツアーでは、令和2年度に引き続き、都市農業の魅力を発信するツアーを実施した。令和3年度は、新たに練馬区都市農業課と共催で農ツアーを夏・秋と実施し、参加者にも大変好評だった。</p>
事業所管課	<p>観光案内所では、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によって、休業や時短営業となった期間があったため、目標売上を達成できなかった。一方で、ねりま観光案内所のレイアウト変更などの一部リニューアルや季節限定商品の販売、新たなねり丸グッズの商品開発など様々な取組を通じて、売上向上に努めている点を評価する。更なる取組を行い、売上向上に期待する。</p> <p>HPのPV数では、イベント情報を含めた魅力発信を行う機会が少なかったため、目標PV数を大きく下回った。令和4年度は、イベント情報の発信に加え、イベントにまつわる情報の付加など、イベントに対して更に興味がわくような魅力発信に取り組み、目標PV数の達成を期待する。</p> <p>ねりま観光ツアーでは、目標実施回数を達成できたことに加えて、抽選倍率が5倍以上となるなど魅力的な企画であることから、実施後アンケートでは全て満足以上(満足または大変満足)となり、高い評価を得られたものと考えられる。引き続き、練馬カプセルを活用するなど、練馬の魅力を体験できるツアー実施を期待する。</p> <p>令和5年度には、スタジオツアー施設の開設や名誉区民の牧野富太郎博士をモデルにしたテレビ放映が予定されていることから、様々な機運醸成の取組を実施し、区内外への積極的な魅力発信の推進を求める。</p>

取組内容の評価(令和4年度)

<p>団体</p>	<p>観光案内所は、行動制限の緩和に伴い、利用者数および購入者が増加した。売り場では季節感を取り入れたフェアの実施や品揃えの充実に取り組み、購入者一人当たりの単価の増加に繋げることができた。また、イベントへの参加により、ねり丸商品を景品にしたカプセルトイの売り上げが増加し、過去最高の年間売上額を達成した。</p> <p>HPによる練馬の魅力発信では、区内の大規模イベントは順次再開されたが、引き続き阿波踊りやよさこい祭り等の多くの注目を集めるイベントが中止になったことにより、イベント情報を充実させることができず、年間PV数は目標値を達成することができなかった。一方で、毎月様々な企画に取り組み、地元企業や地域で活躍する区民にスポットを当てることで練馬の魅力を発信し、100万回超のPV数を獲得することができた。</p> <p>ねりま観光ツアーでは、令和3年度に引き続き、練馬区都市農業課と共催で、都市農業の魅力を発信するツアーを夏・秋に実施した。令和4年度は、新たに石神井地域ゆかりの文豪たちの足跡を辿るツアーを開催し、参加者にも好評を得た。</p>
<p>事業 所管課</p>	<p>観光案内所は、クリスマスやバレンタイン等のフェア開催による商品販売や旬の果樹を使用した和洋菓子の限定販売、ねり丸商品を景品にしたカプセルトイの取組により、過去最高の年間売上額を達成したことを評価する。今後も積極的に新たな取組を行い、売上額の増加に努められたい。</p> <p>HPのPV数では、阿波踊りやよさこい祭りなど多くの注目が集まる地域主催の大規模イベントが中止となった影響により、目標PV数を下回った。しかし、毎月様々な独自企画を行い、継続的な魅力発信を行ったことにより、100万回超のPV数を超えたことは評価できる。令和5年度は、ねりま推し事業に関係する自治体や企業等と連携した企画・実施を通じて、積極的に区の魅力発信に取り組むことを求める。</p> <p>ねりま観光ツアーでは、目標実施回数を達成でき、また、新たに実施した石神井文学散歩についても定員を超える集客ができたことを評価する。令和5年度も新たなツアー造成を行いながら、地域に密着した練馬ならではの魅力あるツアーの実施を求める。</p>

事業4	ねりまファミリーパック
取組内容	①ファミリーパックの事業実施にあたって、区内事業者や区内経済団体と連携共同した新たな事業を実施する。 ②会員の利便性向上と経費節減につながるWeb利用の会員を増やしていく。 ③アンケート調査における満足度を高めるため、様々なニーズに応えられる事業運営に取り組んでいく。

目標①	区内事業者・区内経済団体との共同事業の実施 共同事業の件数7件			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	5件	6件	7件
実績	4件	5件	6件	7件
団体の達成状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標②	Web会員の拡大による利便性の向上 Web会員の割合75%			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	73%	74%	75%
実績	73.0%	74.7%	75.8%	77.7%
団体の達成状況の評価	—	A	A	A
備考	—	スポーツ観戦などのWeb会員に限定したチケットの販売を増やすとともに、見やすさの観点からWeb会員向けの申込画面を改修したため。	Web会員新規登録者対象にクオ・カードペイ200円分プレゼント企画を実施したほか、産地直送品のあっせんなどWeb会員限定の企画を充実したため。	スマートフォン対応サイト開始時に、会報でPRを実施したため。

目標③	会員の満足度、ニーズに応える事業運営 Web会員満足度80%以上			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	80%以上	80%以上	80%以上
実績	—	95.3%	89.3%	95.3%
団体の達成状況の評価	—	A	A	A
備考	—	Web会員を対象として、令和2年12月から令和3年1月に実施したアンケート調査(回答511名)による。	Web会員を対象として、令和3年12月から令和4年1月に実施したアンケート調査(回答177名)による。	Web会員を対象として、令和5年1月から2月に実施したアンケート調査(回答762名)による。

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	<p>新型コロナウイルス感染症によりねりまファミリーパック事業全体が影響を受ける中で、各取組内容とも目標を達成することができた。共同事業については、従来実施しているJAとの共同事業等のほか、区内飲食店を支援するため、新たにねりま観光センターとの共同事業として「飲食店応援事業」を実施した。</p> <p>また、スポーツ観戦などのWeb会員に限定したチケットの販売を増やし、Web会員向けの申込画面を改修した結果、全会員に占めるWeb会員の割合が増加したほか、コロナ禍でも会員サービスを低下させないよう、飲食系カード発行などの事業を実施することで、Web会員の満足度も向上した。</p>
事業所管課	<p>新型コロナウイルス感染症により、契約施設の多くが休館し、また公演等の事業中止が相次ぐなど、事業全体が影響を受ける中で、各取組内容とも目標が達成できたことを評価する。</p> <p>これまでのノウハウを生かして、「コロナ禍における会員ニーズ」と「区内事業者の活性化」の2つの目的を実現した飲食店応援事業の実施、「ステイホーム」が要請される中で、ギフトカードのあっせん事業など生活に密着した事業の充実、「対面」を避けるとともに、利便性も向上するWeb会員を増加させるための取組など、コロナ禍における会員ニーズを的確に捉えた事業を実施したことを評価する。</p> <p>結果として、Web会員の満足度が95パーセントを超え、1万人を超える会員数を維持できたことを評価するとともに、引き続き、コロナ禍における会員ニーズにあった新たな事業の展開と会員数の増加を求める。</p>
取組内容の評価(令和3年度)	
団体	<p>共同事業では、令和2年度にねりま観光センターと実施した「飲食店応援事業」を区内飲食店(会員事業所)との実施とすることで、出展資格を得るための未加入事業所の新規入会に繋がり、利用者も大幅に増加した。また、新たに練馬区国際・都市交流課と共同で実施した「友好都市長野県上田市特産物のあっせん」では、コロナ禍での会員ニーズに合致した事業となり、予想を上回る反響があった。</p> <p>Web会員の拡大および満足度向上の取り組みについては、特産品のあっせんやクオオ・カードペイなど、Web会員限定の企画をさらに充実して実施したことや、Web会員拡大キャンペーンを実施したことにより、Web会員の新規登録者が増えたほか、満足度も目標を達成することができた。</p>
事業所管課	<p>令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により、事業全体が影響を受けるなか、各取組内容とも目的が達成できたことを評価する。</p> <p>共同事業である「飲食店応援事業」の対象を会員事業所の区内飲食店とすることで、会員数の確保と利用者増に繋げることができたこと、また、コロナ禍のニーズに応じた友好都市との共同事業の取組でも利用者増に繋げることができたことを評価する。</p> <p>引き続き、Web会員限定の企画などの充実によってWeb会員の満足度をさらに高めるとともに、Web利用率向上に繋がる事業の展開を期待する。</p> <p>また、一時的ではあるが、初めて会員数が1万人を割った。企業の福利厚生のある方やコロナ禍などの社会環境の変化を踏まえた事業の分析などを通じて、事業者のニーズを捉えながら、柔軟な事業展開と会員数の確保を求める。</p>

取組内容の評価(令和4年度)

<p>団体</p>	<p>共同事業では、産業イベントコーナーを活用して、練馬区国際・都市交流課およびねりま観光センターと共同で、JA東京あおば・JA信州うえだのとれたて野菜・旬のくだもの・ねりコレ商品等の即売会を実施した。約1,500人の来場者があり、多くの区民へPRできた。</p> <p>利用者アンケートで要望が多く、かねてから懸案であったスマートフォンサイトの運用を令和4年10月から開始した。同時期に会報で登録を促し、サイトへのアクセス環境が改善されたことが、Web会員割合の増加、Web会員満足度の向上に繋がった。また、試験的に、会報毎(年6回)にWeb会員限定の抽選会を実施したことも、Web会員割合の増加に寄与している。</p>
<p>事業 所管課</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により事業全体が影響を受けるなかで、各取組内容ともに、3年連続で目標を達成できたことを評価する。</p> <p>特に、飲食店応援事業をはじめとする共同事業の充実に取り組んでおり、JA東京あおばや長野県上田市と実施した共同事業では、約1,500人もの来場があり、多くの区民へのPRにつなげることができたことを評価する。</p> <p>スマートフォンサイトを整備し、アクセスしやすい利用環境の確保に努めることで、Web会員の増加や満足度の向上に繋がっている。引き続き、Web会員の満足度をさらに高めるとともに、キャッシュレス決済の導入など、会員の利便性向上につながる事業の展開を求める。</p> <p>会員が減少傾向にあるなか、これまで以上に会員の要望に寄り添いつつ、地域に根差した特色あるサービスを展開し、新たな会員の確保を求める。</p>

財務・組織	公社の経営体制
取組内容	<p>①現行の経営体制(理事長―常務理事―事務局長)を再編し、区との役割分担の考え方を明文化したパートナーシップ協定を策定・締結する。</p> <p>②現行の運営会議を改組または新たな会議体として、経営戦略会議を設置する。あわせて、区との連絡協議会を定期的に開催する。</p> <p>③後援名義の共有等にとどまらない、更なる事業の連携強化に向けた検討を行う。当面、関係者による連絡協議会を設置し、今後の方向性を協議していく。</p> <p>④各部門で独自に管理している様々な収入について、更なる増収策を検討する。</p> <p>⑤今後の人事組織のあり方について、求める人材像、方向性、区との関係、人事評価システムなどの具体策を示した「人事組織戦略方針」を策定し、順次取り組んでいく。</p> <p>⑥当面の設備整備・サイン計画を作成、実施する。現在の狭隘な窓口・執務スペースの改善策を検討、実施する。</p>

目標①	経営体制の再構築と区とのパートナーシップの確立			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討・協議	順次実施	順次実施
実績	—	検討・協議	実施	実施
団体の達成状況の評価	—	B	B	B
備考	—	公社内部の検討および区との協議を進め、令和3年4月から、常務理事と練馬ビジネスサポートセンター長の兼任を解消し、専任のセンター長を配置することとしたため。		

目標②	経営戦略会議等の設置			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討・設置	会議の運営	会議の運営
実績	—	検討	会議の運営	会議の運営
団体の達成状況の評価	—	C	B	B
備考	—	公社内部の検討に時間を要したため。なお、令和3年4月から経営戦略会議および区との連絡協議会を設置した。		

目標③	区内経済団体との連携強化			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	連絡協議会の 設置・協議	連携強化策の とりまとめ	順次実施
実績	—	検討	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	A	B
備考	—	公社内部の検討に時間を 要したため。なお、令和3 年4月から区内経済団体 との連絡協議会を設置し た。	区内経済団体との連携強 化策として、練馬産業連合 会および東京商工会議所 練馬支部との共催による 特別講演会を練馬産業見 本市で実施したため。	

目標④	独自収入確保のための取組			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	順次実施	実施
実績	—	検討	実施	実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

目標⑤	人事組織戦略方針の策定・実施			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	方針策定・ 順次実施	順次実施	順次実施
実績	—	検討	方針策定・順次実 施	実施
団体の達成 状況の評価	—	C	B	B
備考	—	公社内部の検討に時間を 要したため。		

目標⑥	施設環境の整備			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討・ 一部実施	一部実施	一部実施
実績	検討	検討・ 一部実施	一部実施	一部実施
団体の達成 状況の評価	—	B	B	B
備考	—			

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	<p>公社の経営体制強化のため、常務理事と練馬ビジネスサポートセンター長の兼任を解消し、令和3年4月から新たに専任のセンター長を配置するとともに、レイアウト変更やサイン変更による施設環境の整備など、目標を達成した取組内容があった。また、独自収入確保については、目標を達成したものの、内部検討に留まった。</p> <p>一方で、公社内部での検討に時間を要した結果、人事組織戦略方針については、策定に至らず目標を達成できなかった。また、経営戦略会議、区との連絡協議会および区内経済団体との連絡協議会の設置についても、令和2年度中は検討に留まり、各々の会議体の設置はできなかったものの、令和3年4月から設置することができた。</p>
団体 所管課	<p>公社は、現行の経営体制のもと、これまでのノウハウを生かし、コロナ禍における区内事業者、施設利用者等のニーズを的確に捉え、練馬ビジネスサポートセンターをはじめとする4つの事業を着実に実施した。</p> <p>令和3年4月から常務理事と練馬ビジネスサポートセンター長の兼任を解消し、さらなる経営体制の強化を図ったことを評価する。</p> <p>新たな経営体制のもと、令和2年度中に達成できなかった「人事組織戦略方針」の策定および方針の実行、独自収入確保のための取組の実施に期待する。</p> <p>また、令和2年度中に設置はできなかったものの、令和3年4月から、区および区内経済団体との更なる連携強化を図るための会議体である、「経営戦略会議」、「区との連絡協議会」、「区内経済団体との連絡協議会」を設置したことを、評価する。</p> <p>今後は、設置したこれらの会議体も有効に活用しながら、公社の設立目的である区内産業の振興および地域経済の活性化を、引き続き求める。</p>

取組内容の評価(令和3年度)

<p>団体</p>	<p>令和3年4月から専任の練馬ビジネスサポートセンター長を配置するなどの公社の経営体制強化を図り、令和2年度中に達成できなかった、「経営戦略会議等の設置」、「区内経済団体との連携強化」および「人事組織戦略方針の策定・実施」の各取組内容について、目標を達成した。特に「区内経済団体との連携」については、練馬産業連合会および東京商工会議所練馬支部との共催による特別講演会を実施することで、これまでの後援名義の共有以上の連携強化を図り、目標を超える成果となった。</p> <p>また、「独自収入確保のための取組」として、ねりま観光センターホームページを活用した有料広告事業などを開始するとともに、「施設環境の整備」として練馬ビジネスサポートセンター事務室内に相談ブースを新設するなど、令和2年度に引き続いて、目標を達成した取組内容もあった。</p>
<p>団体 所管課</p>	<p>公社が、経営体制の強化、区との連携強化のために設置した「経営戦略会議」、「区との連絡協議会」の会議体の活用などにより、全ての取組内容の目標を達成したことを評価する。特に、令和2年度に達成できなかった「人事組織戦略方針」を策定し、同方針に基づき専門的人材の確保などに取り組んだことを評価する。また、令和2年度に検討した「独自収入確保のための取組」、「施設環境の整備」の取組内容は、それぞれ「ねりま観光センターホームページを活用した有料広告事業」、「練馬ビジネスサポートセンター事務室内の相談ブースの新設」として、実施された。</p> <p>区内経済団体との連携強化については、練馬産業連合会および東京商工会議所練馬支部との協議を重ね、両団体との共催による特別講演会を実施し、目標を前倒して達成したことを高く評価する。</p> <p>今後も、区および区内経済団体との顕密な連携のもと、公社のさらなる経営体制の強化、策定した人事組織戦略方針の着実な実施などにより、設立目的である区内産業の振興および地域経済の活性化に期待する。</p>

取組内容の評価(令和4年度)

<p>団体</p>	<p>経営戦略会議等を継続して運営するとともに、令和4年6月に特命担当理事職を新設し、公社の経営体制強化をさらに進めた。「区内経済団体との連携強化」については、東京商工会議所練馬支部の主催事業である区内飲食店等スタンプラリーに、企画段階から関与し、広報、景品受付などの様々な協力を行った。「人事組織戦略方針の策定・実施」については、昨年度策定した方針を踏まえた人材育成の根幹となる研修計画を策定し、順次取組を行っている。</p> <p>「独自収入確保のための取組」として、ねり丸グッズの製造経費および販売収入を自主事業として位置付けるとともに、「施設環境の整備」として、区と協議し、解散した練馬アニメーション事務室を確保するなどスペースの改善を図った。また、施設利用者の利便性向上を図るための「区民・産業プラザサイン計画」を策定した。今後は、策定した計画に基づき、取組を進めていく。</p>
<p>団体 所管課</p>	<p>特命担当理事職の新設による経営体制の強化、「経営戦略会議」等を活用した、区との連携強化等により、全ての目標を達成したことを評価する。</p> <p>まず、公社の組織運営において、昨年度策定した「人事組織戦略方針」の取組を着実に実施し、公社職員の研修計画を策定するなど、人材育成の強化を図ったことを評価する。また、これまで補助事業としていた「ねり丸グッズの販売」を自主事業として位置付け、「独自収入確保のための取組」を一層進めたほか、「施設環境の整備」の取組として、解散した練馬アニメーション事務室の活用による公社内の事務スペースの改善や施設利用者の利便性に資する「区民・産業プラザサイン計画」の策定にも取り組んだ。</p> <p>区内経済団体との連携強化については、東京商工会議所練馬支部の主催事業である「区内飲食店等スタンプラリー」へ企画段階から積極的に携わるなど、引き続き連携強化に努めたことを評価する。</p> <p>今後も、昨年度に策定した改定経営計画に基づき、区および区内経済団体との顕密な連携のもと、設立目的である区内産業の振興および地域経済の活性化に期待する。</p>